環境企業大特集

みんなでつくろう エコタウン大東

eco

大東商工会議所 The Daito Chamber of Commerce and Industry

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

VEGETABLE OIL INK

大東商工会議所シンボリック・プロジェクト実施委員会

「環境ビジネス・省エネ・環境保全」などの活動で

地域経済の発展と　地球温暖化の防止を!

みんなでつくろうエコタウン大東

目次

ごあいさつ／大東商工会議所　会頭　池田　實 …… 2

ごあいさつ／シンボリック・プロジェクト実施委員会
委員長　寺田 晟二 …… 3

シンボリック・プロジェクト実施委員会のあゆみ …… 4

節電への取り組み …… 7

環境企業大特集（五十音順）

朝日電器株式会社 …… 8
植田油脂株式会社 …… 9
大阪中央ダイカスト株式会社 …… 10
株式会社 キムラプラスチックス …… 11
小金屋食品株式会社 …… 12
有限会社 コム・インスティチュート …… 13
昭和電機株式会社 …… 14
NPO法人住まいみまもりたい …… 15
摂津倉庫株式会社 …… 16
象印マホービン株式会社 …… 17
第三舶用工業株式会社 …… 18
大創株式会社 …… 19
株式会社 椿本カスタムチエン …… 20
株式会社 都市樹木再生センター …… 21
株式会社 中原運輸 …… 22
西村鉄工株式会社 …… 23
ニッポー株式会社 …… 24
株式会社 ハマテック …… 25
株式会社 阪和ケミカル …… 26
株式会社 日の出組 …… 27
富士発条株式会社 …… 28
株式会社 マイティ …… 29
明星金属工業株式会社 …… 30
株式会社 箭木木工所 …… 31
ヨシザワLD株式会社 …… 32
株式会社 ラブアース・テクノロジー …… 33

エコを武器にビジネスを勝ち抜く戦略を！
／e&i 経営研究所　代表　高野　淨 …… 34

あとがき／委員会名簿 …… 35

ごあいさつ

大東商工会議所
会　頭　池田　實

環境と経済は一体

大東商工会議所シンボリック・プロジェクト事業は、「私たち大東のシンボルになるような事業はないか」という意見をきっかけに、魅力とメリットのある会議所の創造を目指し、大変熱心な議論が展開されたことに端を発します。

そして諸議論の結果、「環境」というキーワードに目標を定めた当事業は、地域のイメージアップ並びに地域経済の活性化を目的に、今日まで活動を行ってまいりました。

たとえば「昔の夏は、今と違っていた…」ことなどを実感されている方がたくさんおられるのではないでしょうか。昨今では肌感覚で「なにやら気候がおかしい」ことが認識できますし、ニュースではゲリラ豪雨や竜巻などの気象現象や、それによって発生した災害もよく耳にするようになりました。

このような全地球を覆う気候変動のなか、「経済か、環境か」というどちらかを選択するという感覚はもはや過去の時代のものであると思われます。低炭素社会の構築に向け、転換期を迎えた世界においては、「環境と経済は一体」として捉える必要があり、まさに環境面での工夫・改善が、経済面での利潤につながる時代を迎えております。

大東商工会議所シンボリック・プロジェクト事業では「環境を意識した経営諸活動へのアプローチが、各々の事業所の更なる活性化につながっていく」という考え方のもと、広く環境経営、環境保全への啓発活動を行ってまいりました。

さて、この環境企業を特集した冊子「環境企業大特集～みんなでつくろうエコタウン大東～」の作成目的は、当事業のこれまでの活動内容を紹介させていただいた記念誌の意味合いと、そして環境を切り口に事業の革新を図ってこられた大東の環境企業をPRさせていただくことにあります。

「環境ビジネス」や「省エネ・環境保全」などの取り組みは、環境負荷の低減だけでなく、技術革新、雇用創出、そして国際競争力の強化など、大きな付加価値を生み出すことにつながります。

大東商工会議所は地域経済発展の役割を果たし、時代を切り開く原動力となるため、今後とも最大限の努力を致す所存でございます。皆様方におかれましては、今後とも絶大なるご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ

シンボリック・プロジェクト実施委員会
委員長　寺田　晟二

平和な幸せな生活環境

血液の循環をはじめ、自然には本来、循環し浄化するシステムが備わっております。しかし現代社会における私達の活動は、そのシステムで支えきれない大きな負荷を自然にかけ続けてまいりました。

ところで一口に「エコ活動」と言いましても、それは何のために行われるのでしょうか。その答えには、いろいろな見解があることと思われますが、突き詰めてまいりますと「平和な幸せな生活環境を求めて行われる活動」と言えるのではないでしょうか。

シンボリック・プロジェクト実施委員会では、これまでエコイベントの開催、エコパネル及びエコステッカーの作成・配布、オリジナルの環境家計簿の作成、環境ビジネスや省エネの観点からの数々のセミナー実施、さらに「節電」を掲げた「POWER　SAVING」ポスターを作成し大東市内に広く掲示、そして大東市民まつりでのエコ風船の配布など、多岐にわたる活動で環境に対する意識の向上に努めてきました。

また一方、地球温暖化防止にかかるCO_2削減の視点から、関西電力㈱に大東市の電力使用量の開示を呼びかけ、節電努力実績の「見える化」を図ることができました。環境啓発活動は決して派手なものではありませんが、これまでのデータからいたしますと、当委員会における地道な活動が実を結んでか、「みんながエコに関心を持っている街」と言い得るような実績をあげることができております。

さて、当委員会では、以上のように「環境」をテーマとした諸活動を行ってまいりましたが、このたび2012年12月末の京都議定書の第一次約束期間満了をひとつの区切りと考え、環境企業を特集した冊子「環境企業大特集～みんなでつくろうエコタウン大東～」を発刊させていただくこととなりました。

当冊子には、「環境ビジネス」や「省エネ・環境保全」などの活動に取り組んでおられる事業所が掲載されております。当冊子が、これをご覧いただいた様々な企業様の環境経営に対するヒントとなり、さらには環境ビジネスの展開や省エネ活動につながり、循環型社会到来を早めるためのひとつの足掛かりとなりますことを願ってやみません。

最後になりましたが、今日まで「環境」をテーマに取り組んでまいりましたシンボリック・プロジェクト活動にご指導、ご支援を頂戴いたしました関係各位の皆様に厚くお礼申し上げます。

シンボリック・プロジェクト 実施委員会のあゆみ

2005（平成17）年度

11月12日

大東のシンボル案発表会

第4回産業展にて

2006（平成18）年度

10月26日

びわ湖環境ビジネスメッセ2006 視察研修会

滋賀県立長浜ドーム

11月11日

「水耕栽培」事例の展示

第5回産業展にて

2007

エコパネル・エコステッカー製作

エアコンスイッチ横に貼付

大東商工会議所受付にて

2008（平成20）年度

6月

6月20日

㈱都市樹木再生センター見学

7月25日

環境学習会「環境から学ぶ明日の経営と暮らし」

講師／花田眞理子氏（大阪産業大学 教授）

11月9日

大東商工会議所 設立10周年記念事業「エコイベント」開催

住道駅南公園（末広公園）

テーマ館（環境パネル・ビオトープなどを展示）

エコクイズ&アンケート

パネルディスカッション

環境　主な動き

2005年

- 愛知万博「愛・地球博」開催
- 知床世界自然遺産に認定
- 地球温暖化対策推進法改正
- 省エネルギー法改正
- 自動車リサイクル法施行
- 「京都議定書」発効
- 「チームマイナス6%」発足
- COOL BIZ（クールビズ）・WARM BIZ（ウォームビズ）を環境省が呼びかけ

2006年

- 石綿による健康被害の救済に関する法律公布
- 容器包装リサイクル法改正
- 東商eco検定スタート
- 南極オゾンホール過去最大に

2007年

- 自動車NOx・PM法改正
- 北極海の海氷、観測史上最小に

2009（平成21）年度

6月2日

講演会「環境ビジネスの事業化に向けて」

講師／高野　淨 氏（e&i経営研究所）

11月

「環境行動目標」を定める

12月25日

説明会
「環境家計簿（事業所編）事前説明会」

1月23日

講習会「環境ビジネス（創出）勉強会①」

講師／高野　淨 氏（e&i経営研究所）

2月8日

講習会「環境ビジネス（創出）勉強会②」

2月

環境経営・環境保全についての
アンケート実施

2010（平成22）年度

7月27日

セミナー「環境ビジネスセミナー」

講師／下川　譲 氏（㈱船井総合研究所）

8月10日

セミナー
「5S・改善活動の基本」
講師／橋本　直行 氏
（㈱船井総合研究所）

9月19日

第31回 大東市民まつり　エコ風船の配布

2月8日

セミナー
「世界の環境産業政策の
最新動向」
講師／諸富 徹 氏
（京都大学大学院 教授）

2月25日

セミナー
「中小企業が取り組める
省エネ対策セミナー」
講師／竹若 富三郎 氏
（㈶省エネルギーセンター近畿支部）

環境家計簿（事業所編）PR

環境家計簿
（事業所編）
PRパネル

環境　主な動き

2008年

- 京都議定書第一約束期間開始（2008～2012年）
- グリーン・ニューディール（GND）概念の発案
- 温暖化対策法改正
- 省エネ法改正（対象事業所拡大へ）
- 生物多様性基本法施行
- エコツーリズム推進法施行
- 北海道洞爺湖（G8）サミット開催

2009年

- 鳩山首相、国連気候変動サミットで温室効果ガスの25%削減を表明
- 「太陽光発電の余剰電力買取制度」開始
- 経済対策のエコポイント制度運用
- 日本で46年ぶりとなる皆既日食
- 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」打ち上げ

2011（平成23）年度

5月

節電啓発ポスター製作

節電ポスター

大東市内広報板に掲示

9月9日

セミナー「企業の『省エネ』『節電』対策セミナー」企業の事例発表

講師／
山中 善博 氏
（富士発条㈱）

講師／
平本　剛 氏
（ポリテクセンター関西）

9月18日

節電啓発風船の配布・エコクイズの実施

第32回大東市民まつり

11月18日

セミナー「環境ビジネスセミナー」企業の事例発表

講師／
高橋 史年 氏
（植田油脂㈱）

講師／
山根 正慎 氏
（環境省）

11月

大東市「夏の節電」実績報告

2012（平成24）年度

6月

大東市「冬の節電」実績報告

8月2日

大東の「省エネ」「環境ビジネス」実施企業見学会

㈱キムラプラスチックス

㈱都市樹木再生センター

9月16日

節電啓発風船の配布（第33回大東市民まつり）

環境　主な動き

2010年
- 「チャレンジ25キャンペーン」発足
- 日本過去最高の猛暑、ゲリラ豪雨多発

2011年
- 改正廃棄物処理法施行
- 東日本大震災
- 東京電力福島原子力発電所事故
- 放射性汚染物対処特別措置法施行
- 世界人口70億人突破
- エネルギーマネジメントの国際規格（ISO 50001）発行

2012年
- 再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始

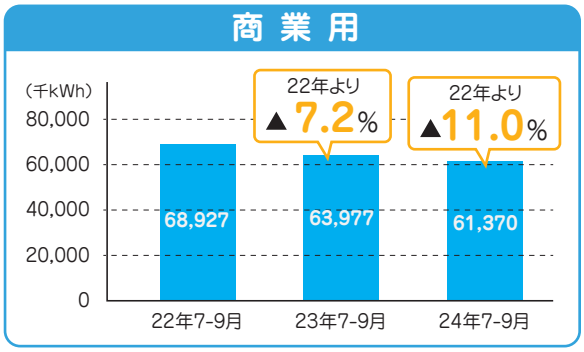
みんなで CO_2 CO_2（コッコッ）頑張りました！

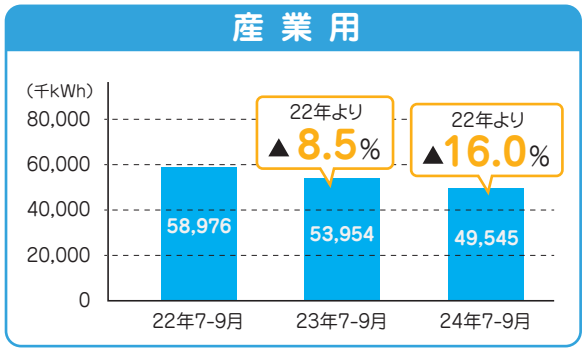
夏・冬それぞれの節電期間 電力使用量を削減！

大東市内事業所の皆様が、節電に取り組まれた結果、23年･24年夏の電力使用量（商業用･産業用）は、節電要請の無かった22年と比べ、大幅に削減することが出来ました。
また、24年冬の電力使用量は、平均気温が平年より低かったにも関わらず、前年同期間より削減することが出来、CO_2の削減につながりました。

大東市　夏の節電期間

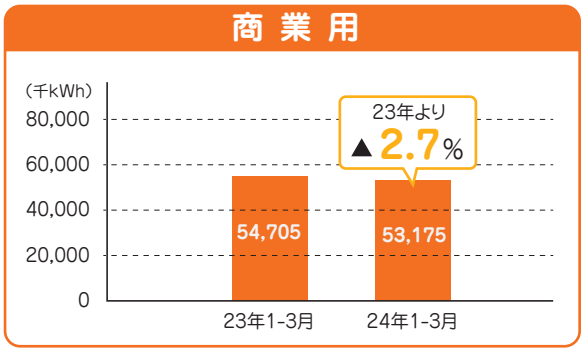
平成22年同期間と比較

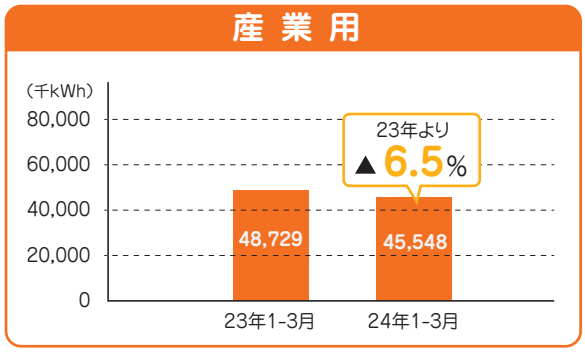




大東市　冬の節電期間

平成23年同期間と比較





上記数値は、各月の電力量の合算数値より算出しています。

「大東市」（商業用・産業用）の電力使用量は、「大阪府」「関電管内」以上の削減率！

平成23年同期間と比較

各地域の電力使用量削減率を平成23年同期間と比較しました。
下記、節電要請期間での「大東市」の電力使用量は、「大阪府」「関電管内」の平均値より高い削減率となりました。

商業用

	（24年 1-3月）	（24年 7-9月）
大東市	**▲2.7%**	**▲4.3%**
大阪府	▲ 1.4%	▲ 2.1%
関電管内	▲ 1.4%	▲ 3.1%

産業用

	（24年 1-3月）	（24年 7-9月）
大東市	**▲6.5%**	**▲8.2%**
大阪府	▲ 2.5%	▲ 4.3%
関電管内	▲ 3.6%	▲ 5.5%

上記数値は、各月削減率の平均値です。

●用途別については、関西電力㈱契約メニューに基づき算出しております。
平成24年7月まで／《商業用》従量電灯B、低圧総合利用契約、低圧電力、低圧季時別電力、業務用電力　《産業用》高圧電力A、大口電力
平成24年8月･9月／《商業用》従量電灯B、低圧総合利用契約、低圧電力、低圧季時別電力、自由化分野の業務用電力　《産業用》自由化分野の産業用需要
●関西電力管内全地域:大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県、福井県一部

資料協力：関西電力株式会社

電気の暮らしをより快適に、知恵とアイデアでエコ商品を提案！

朝日電器株式会社

所在地：	〒574-0053 大阪府大東市新田旭町4－10
TEL：	072－871－5052
FAX：	072－871－5274
URL：	http://www.elpa.co.jp
代表者：	代表取締役会長 寺田 晟二 代表取締役社長 府木 嗣史
従業員数：	335名
事業内容：	電気用品卸売業

家電の隙間商品をSCMシステムの運用で、無駄なく小売店へ供給

当社は、安全、安心、簡単、便利、ECOをキーワードに、家電の快適生活を応援する企業として成長してきました。

お客様の視点に立って大手家電メーカーのサービスパーツを小売店へ供給することから始め、かゆいところに手が届く多くのオリジナル商品を企画･設計し、協力会社での製造、当社での検査を経て、全国8か所の物流センターから小売店へ売れた分だけ納品し、多品種少量供給を実現しています。総合スーパー、ホームセンター、家電量販店などへ売場提案も行っています。

SCMシステムを構築し、必要なモノを必要な時に必要な数だけ供給する当社の仕組みは、資源を無駄に使わない環境に配慮した仕組みといえます。

本社屋の蛍光灯を順次LED電球に変え、大幅にCO_2排出量を削減するなど、省エネにも積極的に取り組んでいます。

オリジナルエコ商品の開発販売で、お客様の「快適エコライフ」を支援

家電の消耗品を小売店の店頭に品揃えすることで、お客様に長く家電製品をお使いいただくとともにLED電球、スイッチ付きタップ、センサー付き照明、コンセント取付型電力量表示器、太陽光発電付き屋外灯など、節電応援商品も多数販売しています。

お客様自身が簡単に取り付けられる商品を揃え、お客様の「快適エコライフ」を支援しています。

廃食用油のリサイクルで「地球のきれい」をお手伝い

植田油脂株式会社

約 800t 保管できるタンクヤード

所 在 地：	〒574-0072 大阪府大東市深野 5−4−22
T E L：	072−870−3555
F A X：	072−870−3557
U R L：	http://www.uedayushi.com
代 表 者：	代表取締役　植田 良次
従業員数：	57名
事業内容：	油脂製造業
認証･資格等：	ISO 14001・産業廃棄物処理業許可

廃食用油の完全リサイクルで循環型社会に貢献

当社は、廃食用油のリサイクルをしています。ファーストフード、スーパー、コンビニ、居酒屋チェーン、食品工場、社員食堂などで、一斗缶やタンクなどに保管いただいた廃食用油を、当社あるいは協力会社のトラックやタンクローリーで収集･運搬し、当社の工場で中間処理･精製を行って再生油を作ります。再生油の多くは飼料用油脂になります。飼料メーカーの要望に応じて各種再生油を配合させ、厳しい検査の後、出荷されます。飼料に油を吹きかけると、パサパサ感が無くなり、カロリーを上げることができます。その他、石鹸原料や工業用の油としても出荷されます。実績管理も万全で、排出事業者に回収実績等の情報を提供しています。

廃食用油は流して廃棄されますと、水質汚濁や土壌汚染につながります。焼却廃棄するとCO_2が排出されます。

当社では、そば･うどん屋さん、豆腐屋さん、肉やさんなどの個人商店やマンションなどの一般家庭であっても、管理が可能であれば、少量でもできるだけ回収ルートに乗せることを心がけ、環境保全と循環型社会の実現に貢献しています。

リサイクル石鹸の活用と様々な環境配慮活動を実践

当社で精製した再生油を使用して石鹸メーカーで作られたリサイクル石鹸の一部は、当社工場の清掃などでも使用しています。リサイクル石鹸は人（手肌）や河川にやさしく、最終的に水と炭酸ガスに分解されます。リサイクル石鹸は、当社が理事長を務める西日本油脂事業協同組合より、小売業にも販売し、複合施設のゴミ庫の清掃などに使用されています。小学校･スーパー･飲食店などで好まれる方には当社から直接販売もしています。

工場内に廃水ピットを設け、排水浄化を徹底しています。敷地内で発生した汚水や油は排水ピットに集まります。上澄み液をすくった後、微生物で浄化しています。浄化しきれないものは吸引してタンクローリーで処分場へ運び、処分していただいています。

一斗缶などの空き缶も缶メーカーなどに引き取ってもらい、リユースされます。リユースできないものは当社でプレスし、スクラップ処理業者に引き取ってもらいリサイクルされます。

毎日最適な配車ルートの編成を行い、回収車両の燃費向上にも努めています。

「環境・化学物質」をキーワードに 安心できるダイカスト&プラスチック部品を供給

大阪中央ダイカスト株式会社

所 在 地：	〒574-0063 大阪府大東市南郷町 8−8
T E L：	072−871−0021
F A X：	072−875−8958
U R L：	http://www.osakacyuo.com
代 表 者：	代表取締役社長　神田 恵吉
従業員数：	130名
事業内容：	アルミ・亜鉛ダイカスト製品及び樹脂射出成形製品の製造業
認証・資格等：	ISO 14001・ISO 9001

お客様の要求に最適なダイカスト技術・樹脂成形技術で高品質の部品を製造

当社は、超低速（層流）ダイカスト、精密局部加圧ダイカスト、減圧ダイカスト、溶湯処理の4本柱の融合に流動解析を加えたダイカスト技術を構築し、それを検証する検査設備を有することで、巣のない高強度で美しいダイカスト製品を日々生産しています。また、熱可塑性プラスチックの射出成形品も製造しています。お客様は、自動車・産業機器・照明・家電・建築金物・住宅設備など多岐に渡り、多品種、小ロットをこなしながら、品質・環境両面からお客様に満足いただける部品を製造し、供給しています。

金型設計においては、流動解析や過去に蓄積したデータから予測できる問題を未然に防ぎ、当社ダイカスト技術を120%活かせる金型方案を設計しています。

含有化学物質管理にも早くから取り組み、お客様の要求する様式で情報提供するとともに、必要に応じて検査データも提供しています。

省エネ及び廃棄ロス削減に日々取り組む

当社は、省エネ法における第二種エネルギー管理指定工場に指定されており、エネルギー管理士を養成して、日々省エネに取り組んでいます。たとえば、溶解炉については、省エネタイプの溶解炉の導入、休日の溶解炉保持温度の見直し、バーナー／フィルターの定期清掃、双子炉の炉蓋設置、不良率の低減などに取り組んでいます。ダイカストマシン、射出成形機共に老朽化したものから省エネタイプの電動サーボマシンに順次更新し、コンプレッサーも老朽化したものをインバーター搭載機に入れ替えています。事務所や検査室等には、エアコンの風で回るハイブリッドファンを導入し、温度ムラの解消に役立てています。

お客様からEDIで送られてくる注文データを基に、段取り替えが極力少なくなるように生産計画を組み、廃棄ロスや時間ロスの削減にも努めています。

さらにチャレンジ25（温暖化防止のための国民運動）に登録し、協力会社とともに、エコドライブにも取り組んでいます。

工場内での「脱・空調」
～排熱に影響されない業務空間の作り方～

株式会社 キムラプラスチックス

所 在 地：	〒574-0022 大阪府大東市平野屋 2−8−18
T E L：	072−807−8880
F A X：	072−807−6660
U R L：	http://www.kimura-plastics.co.jp/
代 表 者：	代表取締役　木村 克己
従業員数：	18名
事業内容：	工業用プラスチック成形品製造
認証･資格等：	ISO 9001

超小型でロングランの精密プラスチック射出成形に特化

当社は、光学式センサー部品や自動車エンジンの点火装置に組み込まれる部品などの、超小型で受注ロットが大きくロングランで続く精密プラスチックの射出成形に特化して事業を行っています。

こうした製品は、1回に投入する原料の量も少なく、約12時間の連続運転が可能です。朝と夕方の2回の原料投入や段取り替えによって、夜間は無人運転しています。寸法は画像処理で全自動で計測し、外観検査は、1ロットあたり3ショット分ほど顕微鏡による目視チェックで行っています。

金型については、当社の子会社で設計･製造しています。成形する時に、高温で溶けた樹脂とともに発生するガスが逃げやすい構造で、しかもロングランに耐え得る金型を製作しています。

自社製品としては、外食産業で使用される業務用の耐熱･耐薬品性に優れたプラスチック箸を製造しています。割り箸の使用を減らすエコ商品です。

空調機を使わず工場廃熱を逃がす

当社の1階製造工場では、40台の射出成形機が毎日稼働しています。機械からの廃熱でどうしても室温が高くなってしまいます。室温の変化は品質に影響するため、5台の空調を年中24時間稼働していました。ある日、外気の冷たさに触れ、外気を取り入れて冷却しようと考えました。

南側の窓に14台の換気扇を並べて工場内の廃熱を追い出し、北側の窓から冷風を取り込むことで、理想としていた30℃±1℃を維持することができました。その後、北側の外気とともに入ってくる塵対策として、北側にも換気扇を設置し、フィルタを通して南北両側から外気を室内に押し込み、東西の扉を開けて廃熱を追い出すことにしました。窓の外側にミストを吹きつけて少し冷えた風を押し込むことでさらに室温を下げています。室内にも純水によるミスト発生装置を設置し、気化熱で温度を下げるとともに、湿度センサーで一定の湿度を維持しています。

さらに、デマンド監視装置の設置、コンプレッサー廃熱の冬の暖房利用、事務所や検査室でのLED照明、工場外でのスプリンクラーによる打ち水など、数々の省エネ対策に取り組んでいます。

安全・安心・環境に配慮したこだわり納豆で「美味しさの感動」をお客様に提供

小金屋食品株式会社

天然納豆菌の「なにわら納豆」

所在地：	〒574-0064 大阪府大東市御領 3−10−8
TEL：	072−871−8456
FAX：	072−871−8884
URL：	http://koganeya.biz
代表者：	代表取締役　吉田 恵美子
従業員数：	5名
事業内容：	納豆製造業
認証・資格等：	エコアクション21

進化し続けるこだわり納豆

当社は、お客様に「美味しさの感動」を届けるべく、納豆職人の厳しい目で商品の状態を確認し、機械任せにせず手作業を加えたこだわりの逸品を作り続けています。

こだわり納豆は、素材、納豆菌、水、製法、たれに仕掛けがあります。素材は100%国産大豆。もちろん遺伝子組み換えの大豆は使用しません。納豆菌は培養したものではなく、稲わらに生息する枯草菌という天然菌を使用しています。水は「竹炭」を使って浄化しています。製法は創業時より大事にしている高圧の釜を使って、その日の天気によって水加減や微妙な温度調整を行いながらふっくら炊き上げる当社オリジナル製法です。たれは鰹の風味と甘味が絶妙に配合され、豆の美味しさを最大限ひきだしてくれる当社オリジナルのたれです。

現在、藁つとにくるんだ「なにわら納豆」をはじめ、数種類のこだわり納豆が作られていますが、今後もさらなる「美味しい納豆」を目指して飽くなき挑戦と研究を続けます。

環境にやさしい納豆を極力少ない環境負荷で作る

「竹姫納豆」という当社の商品があります。これは国産大豆と天然納豆菌を使用した良質の納豆を、大東市の竹藪から切り出した竹筒に入れて発酵させて作ったものです。竹の中で醗酵させることにより竹の香りと共に食べられる納豆です。なにより定期的に間伐に入ることにより竹藪がきれいな竹林に変わりました。この商品は大東市内の産（小金屋食品）・学（大阪産業大学）・民（NPO法人EDEN）の三者が協力して開発しました。

小金屋食品㈱の納豆ラインナップ

これまでプラスチック容器に充填していた商品は環境にやさしい紙パック容器に移行しました。また不要な設備を廃棄し、電力使用量を削減しました。

1週間先までの精度の高い需要予測とネットによる受注販売や工場に併設する直売所での調整販売で売れ残り在庫を捨てることはありません。

製造工程で発生するわら屑や食品残渣は無農薬農家に堆肥として提供しています。

その他、流水から溜め水による洗浄への変更、冷暖房の温度管理の徹底、こまめな消灯など、エコアクション21の認証取得を機にさらなる環境配慮に取り組んでいます。

「NO WHERE どこにもない …NOW HERE いまここに…」をコンセプトに魅力のある商品を開発

有限会社 コム･インスティチュート

1 液室温硬化型・放熱用接着剤

所 在 地：	〒574-0027 大阪府大東市三住町 6−21
T E L：	050−3554−4713
F A X：	072−870−3692
U R L：	http://www.com-institute.co.jp
代 表 者：	代表取締役　小牧 保之
事業内容：	化粧品･健康食品･健康雑貨の企画製造販売
認証･資格等：	毛髪診断士 認定講師･化粧品製造販売業 高度管理医療機器等販売業

お客様のために商品開発支援でどこにもないものを創りだす

当社は、お客様の求める今市場にない新商品の開発支援を行っています。各種学会及び大学と連携することで、新技術に関する情報を収集し、お客様の求める新しい商品を企画開発し、製造はモノづくりのプロ集団に依頼し、品質管理と営業支援を行っています。当社は商品開発、品質管理、営業開発に特化した企業です。生産拠点は日本国内のみならず、韓国、台湾、中国などにあります。

これまでに素材にこだわり優れた効能を持つ化粧品や健康食品などを開発し、OEMで提供してきました。これからも埋没されたままの科学技術や最先端の研究課題を売れる商品に発展させるために、お客様、大学等の研究機関、モノづくりのプロと連携して商品開発支援を進めていきます。

環境にやさしいオリジナル商品を開発販売

当社では、優れた環境性能を持つオリジナル商品を開発しました。一つは「1液室温硬化型･放熱用接着剤」です。電子部品は蓄熱することによりその性能がダウンします。パワートランジスタやLEDデバイスなどのパワー半導体素子から発生する熱は、外部に逃がす必要があります。熱を伝え（熱伝導率:4.220W／m･K）、電気を通さず（誘電正接:0.0171）、難燃性（UL94　V-1適合）で、その上、常温で固まる電子部品用の接着剤です。製品本来の性能を引き出し、節電に役立ち、製品寿命も長くなります。この放熱用接着剤を使ったLEDランプ組立キットも発売しました。LED照明の基礎技術を習得するのに最適です。

もう一つは「持ち運びが可能な重さ12kgのリチウムイオン電池搭載アタッシュケース式蓄電池」です。リチウムイオン電池の容量は40Ah。パソコンと20Wの蛍光灯で約4〜5時間の連続使用が可能です。オプションの折りたたみ式ソーラーパネル（70W）からも蓄電できます。電力不足の解消、家庭向け･小規模オフィス向けの節電対策、非常時の電源確保が主な用途です。

リチウムイオン電池搭載アタッシュケース蓄電池（写真上）
折りたたみ式ソーラーパネル（写真下）

「環境へホスピタリティ」の理念のもと、徹底した省エネ工場で風力のブランドづくり

昭和電機株式会社

所在地：	〒574-0052 大阪府大東市新田北町 1−25
TEL：	072−870−5708
FAX：	072−870−7243
URL：	http://www.showadenki.co.jp/
代表者：	代表取締役　柏木 武久
従業員数：	184名
事業内容：	電気機器製造販売
認証･資格等：	ISO 14001・ISO 9001 通産省交流電動機等応用機器類製造事業・全省庁統一資格 防爆構造電気機械器具検定合格 建設業 管工事業 大阪府知事許可 大阪府機材製造者指定 送風機

「流れの技術」と「回転機の技術」をコアにした高度なノウハウで環境改善機器を提供

当社は1950年創業以来、モーターを中心としたさまざまな産業用機器を開発してきました。これらの経験を踏まえ「産業界の名助演者」を目指し、職場環境改善機器をはじめとして多くの産業用機器を業界に提供しています。具体的には、高効率電動送風機、耐食性･耐熱性の高いファン･ブロア、工作機械で金属加工時に発生するオイルミストを捕集するミストコレクター（ミストレーサ）、さまざまな作業現場で発生するダストを集じんする集じん機（ダストレーサ）などです。例えば、高効率電動送風機では送風機の高効率（省エネ）と低騒音化を図るために、試作と解析を繰り返し、風の乱流がほとんどない最適な形状の羽根車を開発いたしました。これに自社で開発した専用の高効率モーターを組合せることで、大幅な省エネ効果が得られ環境負荷の低減に大きく貢献できるものと自負しています。

また、当社では「is工房」と呼ぶ、お客様からの疑問･質問に迅速かつ的確に回答する独自のシステムを運営し、お客様のつぶやき･ささやきをカタチにしています。これからもお客様熟知に力を注ぎ、お客様の価値創造のお手伝いをさせていただきます。

ムダや環境負荷の少ないモノづくり工場を実現

当社では「流れの技術」でお客様の課題を解決するために、年間1,500種以上の製品を新規設計しています。そのため、多品種少量生産･最適納期に対応すべく、日々の改善活動を積み重ね、「一人一個流し生産方式」を実現しました。

また2004年の大東工場改築を機に、環境負荷の少ないモノづくり工場を目指し、100kWの太陽光発電装置や約2,000㎡の屋上庭園を設置するとともに、さまざまな省エネルギー活動を実施してきました。

屋上庭園では約60種300本の樹木が生育し、概ね5℃の断熱効果をもたらしています。

空調については氷蓄熱式やガスヒートポンプ式のシステムを導入し、さらにデマンド監視装置で自動的にピーク制御を行っています。

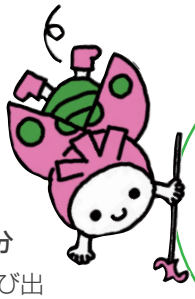
照明については、蛍光灯の間引きやプルスイッチ、自動スイッチなどを使用するとともに、Hf蛍光灯やLED照明の導入を進めています。

社員の省エネ意識･環境意識の高揚を図るために、省エネルギー推進委員会を設置し、エネルギーロスの撲滅活動やパトロール活動を行っています。

お部屋にあるもったいない物を有効利用する市民の輪を拡大!

NPO法人　住まいみまもりたい

所 在 地：	〒574-0011 大阪府大東市北条 1-4-18　毎弘ビル107
T E L：	072-876-5711
F A X：	072-878-9459
U R L：	http://www.sumaisc.com
代 表 者：	理事長　吉村 悦子
従業員数：	4名
事業内容：	住環境サービス業



ごみの削減とともに
商店街の活性化にも
つながっているんだね。

安心して暮らせる住まいづくり

少子高齢化が進み、一人住まいのお年寄りが不要品や粗大ごみの回収を役所にお願いしても外に運び出せないということが起きています。住まいに関する困りごとを相談するところがない。そんな声を受けて、私たちは住まいの相談窓口になろうとNPO法人を立ち上げました。

私たちは次のような住まいの悩みに、行政や業者と連携して対応しています。

1)不要品や粗大ごみの片づけ･処分
市に処分を依頼した粗大ごみの運び出し、家具の移動、分別、処分など

2)ハウスクリーニング
水回り、庭、窓、エアコンなどの掃除

3)ハウスメンテナンス･リフォーム
クロス･障子の張り替え、キッチン･トイレ･バスのリフォーム

4)その他
害虫駆除、風呂釜撤去、ガラスの交換、鍵のトラブル対応など

地域社会とともに考え連携しながら、快適な住環境推進のためのサポート事業を通じて安心･安全な地域社会を目指し、女性や高齢者、ニートの方などが社会参加できる窓口として活動しています。

「もったいない情報サロン」で要らないものを有効利用

不要品や粗大ごみをお部屋から運び出すお手伝いをしていますと、まだまだ使えるものが多くあると気づきました。大阪産業大学の学生さんにそれらを廃棄した場合のCO_2排出量を算出してもらい、使えば環境対策にもなると考えました。そこで野崎参道商店街の空き店舗に、「もったいない情報サロン」を開設しました。環境対策と商店街の活性化を目的として、買ったまま、もらったまま捨てられたものを中心に、引き取ったものを格安で販売しています。

情報発信を行う「野崎ほんわかスタジオ」も併設しています。マスコミにも取り上げられ、商店街の活性化にも貢献しています。

さらに「○○が出たら欲しい。」というお客様の声を聞き、「ゆずりたいもの･ほしいもの」リストへの登録をお願いするようになりました。捨てるのがもったいない物を地域の資源として有効利用する市民の輪をこれからも広げていきます。

人・調和・自然・創造をキーワードに 総合物流サービスでお客様の商品物流を支える

摂津倉庫株式会社

所 在 地：	〒574-0023 大阪府大東市南新田 1−3−13
T E L：	072-870-7070
F A X：	072-870-2003
U R L：	http://www.settsu-soko.co.jp
代 表 者：	代表取締役社長　浅野 弘資
従業員数：	137名
事業内容：	総合物流
認証･資格等：	2007年グリーン経営認証

お客様の物流業務をトータルで支え、高品質･ローコストな総合物流を実現

当社は、主として商社･メーカー企業の商品を預かり、スーパーマーケット･コンビニ･問屋･大型量販店･ホームセンター･病院･個人宅などにお届けしています。その間の運送、荷役、倉庫管理、流通加工、梱包･包装、情報管理など、物流に関する業務をトータルで引き受け、高品質･ローコストな総合物流を実現しています。

主な取扱商品には、日用品、インスタント食品、電器･電機･通信機器、書籍･DVD、建築材料、紙･ダンボール、医薬品･医療器などがあります。

全国各地に物流センターを持ち、商品特性に適した設備機器･車両･経験豊富な人材とともに、最先端の物流ITを駆使し、効率的な入出庫、科学的な生産性評価、商品特性･市場特性に対応した在庫管理、効率的で安全･低環境負荷の配送を実現しています。

入庫～在庫管理～物流～出荷～積載までの搬送ラインを全てITで制御するとともに、お客様とオンラインでつなぎ、必要な情報を瞬時に提供しています。

「グリーン経営認証」を柱に運送業務の環境負荷を低減

当社は、2007年に「グリーン経営認証」を取得し、「大阪府グリーン配送指定事業者」にも認定され、エコドライブの推進、アイドリングストップの推進、低公害車への転換を図ってきました。

ドライバーには管理シートを手渡し、走行距離に応じてエンジンオイル･エンジンフィルタなどの各種部品交換、清掃等の実施を促し、管理実績や燃費を記録しています。この記録を、全車に導入されたデジタルタコグラフのデータと照合することで PDCAを回し、運転手の安全強化、環境負荷の低減、コスト削減に成果を上げています。さらに配車計画の適正化により、積載率、実車率、車両回転率の向上に努めています。

ストレッチフィルムから再利用可能な荷崩れ防止シートへの変更、空いたダンボール箱の再利用や緩衝剤としての利用などにより、廃棄物の削減にも努めています。

グリーン経営認証
登　録　証

登録業種　：トラック運送事業
登録番号　：T270124
登録事業所　：摂津倉庫株式会社
大東営業所
大阪府大東市錦ヶ丘2-1-1

当財団は、上記事業所の環境保全取組みを審査し、グリーン経営認証基準に適合していることを確認したので、登録いたします。

登録日　：2011年 12月 10日
有効期限　：2013年 12月 9日

グリーン経営 認証
会長　井山　嗣夫

「暮らしを創る」を理念に、人と環境にやさしい日常生活用品を提供

象印マホービン株式会社
（生産開発部門）

所 在 地：	〒574-0013 大阪府大東市中垣内 1−2−1
T E L：	072−870−6564
F A X：	072−875−3410
U R L：	http://zojirushi.co.jp/
代 表 者：	生産開発本部長　治京 宏明
従業員数：	240名（大東市の事業所のみ）
事業内容：	電気機器製造業
認証･資格等：	ISO 14001・ISO 9001

真空断熱技術を核に、人と環境にやさしい日常生活用品を製造

当社の歴史は1本のガラスマホービンからスタートしました。それは「真空断熱」という技術を活かした家庭用製品でした。それ以来、その時々の最新技術を活かしつつ、常に時代をリードする快適で便利な暮らしの品々を創り続けています。現在は、炊飯ジャーなどの調理家電、マホービンなどのリビング用品、加湿器や空気清浄機などの生活家電、真空パネルなどの産業機器の4分野の商品を製造･販売しています。

当社の商品は、美味しさや便利さを追求するとともに、省エネ性能の向上にも力を入れており、炊飯ジャーで「省エネラベル（グリーン）」を取得しています。そもそもマホービン自体、電気を使わずに保温･保冷できる省エネ商品です。また炊飯ジャーでは、通常よりも電力を抑えめにして炊く「エコ炊飯」機能も選択できるようにしています。電気ポットには真空断熱層があり、消費電力を抑える工夫をしています。

さらに、街中のカフェやお茶屋さんと提携して、ステンレスボトルを持ち歩けばお茶などを補給できる「マイボトルキャンペーン」を展開して、ペットボトルゴミの削減にも貢献しています。

飽くなき生産革新で環境負荷を低減

当社では、日々生産革新を続け、QCD（品質、コスト、納期）の向上に努めつつ、環境負荷の削減に取り組んでいます。2003年には組立ラインからベルトコンベアを撤去し、少人数で1台の製品を組み立てるセル生産方式に切り替えました。これにより、多品種少量生産におけるムダを大幅に削減しています。

工場ではエアー漏れのチェックや空調のデマンド監視による自動オフ･オンなどを行うとともに、生産設備については空転時間を減らし、省エネに努めています。

ステンレスボトルなどを真空構造にするためには400℃位に加熱する必要があり、ガス炉が使われていますが、少量を加熱する時はムダが発生します。IH式の小型の加熱方式をステンレスボトルでは実用化し、電気ポットについてできないか研究を続けています。

また、敷地内にはリサイクルセンターを設置し、廃棄された製品を回収し、材料別に分別してリサイクル業者に引き渡しています。炊飯ジャーの性能試験等で排出される残飯は、堆肥化して農作物の栽培土壌に再利用されています。

小型船舶の省エネ・CO_2削減を実現するエコシップへの挑戦

第三舶用工業株式会社

所在地：	〒574-0044 大阪府大東市諸福 3−12−33
TEL：	072−874−1361
FAX：	072−874−6947
従業員数：	12名
事業内容：	船舶用機器製造業

小型船舶搭載型ジャイロ式高効率波力発電装置

小型船舶の艤装品に特化し、海に生きる人々のニーズに応える

当社は、小型漁船やプレジャーボートなどの小型船舶の軸系装置、ポンプ配管システム、排気システム、防蝕システムなど、一般に艤装品と呼ばれる船体とエンジンを除く様々な部品を製造しています。

当社が製造している艤装品の一つにサイドスラスターと呼ばれるものがあります。これは、船体の水面下前方にトンネルを通し、その中にプロペラをつけて横向きに水流を出すことで船を横滑りさせる装置です。狭い航路を通過する時や、離着岸をスムーズに行う時に有効です。また、沖合で船釣時など船先の向きを簡単に変えることができます。

当社は、小型船舶市場の中で、海に生きる人々のニーズを捉え、新たな製品開発を積極的に行っています。

プレジャーボート用電動式サイドスラスター

揺れや廃熱からエネルギーを取り出す装置の開発で漁船漁業の経営改善に貢献

日本の造船業界は、韓国や中国に後塵を拝して受注が激減し、2年後には造る船が無くなるという「2014年問題」の危機に直面しています。それに立ち向かうために環境技術を活かした「エコシップ」が注目されています。

当社でも小型船舶分野で研究機関と共同で「エコシップ」の開発に取り組んでいます。一つが、「小型船舶搭載型ジャイロ式高効率波力発電装置」です。これは船舶の上に装着し、波力を電力に変換すると同時に、船舶の揺れを小さくする装置です。ジャイロモーメントの利用により、従来の波力発電の2倍の効率で発電します。

もう一つは、「小型船舶用ディーゼルエンジンの排気廃熱から熱電素子を応用して発電する装置」です。これは、金属の両端に温度差を与えると、その両端に起電力が生じるという現象を利用したもので、そうした性質をもつ熱電素子を排気システムに取り付け、エンジンからの廃熱を電力に変換する装置です。原油高騰でコストアップにあえぐ漁船漁業の経営改善に貢献するのが狙いです。

紙器・段ボール業界へのサービスで顧客価値最大化と環境配慮を実践

大創株式会社

本社（大東市大東町）

所 在 地：	〒574-0061 大阪府大東市大東町10－10
T E L：	072−875−2951
F A X：	072−873−5008
U R L：	http://www..daiso-net.com/
代 表 者：	代表取締役社長　大塚 雅一
従業員数：	120名
事業内容：	パッケージ用抜き型製造
認証･資格等：	ISO 9001

パッケージ用抜き型を中心に安全と環境に配慮した商品を提供

当社は、紙器･段ボール業界へ、パッケージ用抜き型を中心に、その周辺資材、現場改善商品を提供しています。

パッケージ用抜き型は、ダンボール箱を作るために展開したものに対して、刃物を入れて打ち抜く木型で、トムソン型と呼ばれています。この木型に装着される部材には燃えてもダイオキシンが発生しにくい素材が使われています。

塩化ビニールを使用していない打抜き時の罫割れ防止用テープ、オレンジから抽出したリモネン配合の、テープ剥ぎ取り後の汚れ落とし剤、燃やしても無公害な滑り止めスポンジなど、環境にやさしい周辺資材も製造販売しています。

さらに、コーン標示カバー、LEDライト付き帽子、エアコンの風で電気を使わずに拡散するハイブリッドファン、水にぬらすだけでひんやりするタオル、ヘルメットや帽子に貼るだけで流れる汗をキャッチするテープバンド、5Sツールなどの節電･熱中症対策･現場環境改善用商品も販売しています。

5Sと環境家計簿（事業所編）を軸に地域貢献と環境配慮活動を実践

当社では、全工場に5S委員会を設置し、5S（整理･整頓･清掃･清潔･躾）の実践による作業効率化、廃棄ロスの削減、環境負荷の低減に取り組んでいます。5S活動の取り組みは、改善前後の写真を掲示版に掲載したり、ITの掲示板を活用して、全工場で情報共有しています。

環境家計簿（事業所編）も全工場に導入し、毎月のエネルギー使用量を記録し、削減に取り組んでいます。当社で販売中のハイブリッドファンを社内に設置し、節電に取り組んでいます。

また、テレマティックスと呼ばれるサービスを利用して、社用車や営業車の運転データをリアルタイムに把握し、燃費向上･CO2排出低減･安全運転に取り組んでいます。

月1回、会社周辺や会社の前にある歩道橋を掃除するアドプトロード活動にも参加し、地域の環境保全に貢献しています。

大阪工場（大東市氷野）

小形エンジニアリングチェーンの製造を通じて人と地球に思いを寄せた環境づくりへ!

株式会社 椿本カスタムチエン

チェーン式直線作動機「つばき ジップチェーンアクチュエータ®」

所 在 地：	〒574-0064 大阪府大東市御領 2−3−1
T E L：	072−873−1881
F A X：	072−873−1660
U R L：	http://www.tsubakimoto.jp/tcc/
代 表 者：	代表取締役社長　松浦 哲文
従業員数：	200名
事業内容：	小形コンベヤチェーン及び特殊チェーン製造
認証･資格等：	ISO 14001・ISO 9001

多様な使用目的に応じた小形エンジニアリングチェーンを製造

当社は、椿本チエイングループの一員として、小形コンベヤチェーンをはじめ、様々な用途にお応えする特殊チェーンを製造しています。弱電機器製造ラインや自動車工場の部品加工搬送ライン、ボトリング･製パン･製菓･製麺などの食品加工プラント、選果機などの農業機械、回転寿司チェーン店の寿司搬送機など、様々なコンベヤ装置や自動機械に組み込まれて重要な機能を果たしています。

当社チェーンの特徴は、高品質･高精度･長寿命です。できるだけメンテナンスフリーで長時間使えることが、エコにつながると考えています。給油のいらない小形コンベヤチェーンも製造しています。

製造工程には、チェーン部品の加工（プレス、切削、熱処理、研磨）、組立があります。多品種少量･短納期の受注生産に対応するため、総合生産管理システムを構築し、製品の受注から設計･製作及び納品にいたるまでの一連の企業活動を管理しています。

写真の商品は、2本のチェーンがジッパーのように噛み合って、1本の強固な柱状になった「ジップチェーン」を使用したチェーン式直線作動機「つばきジップチェーンアクチュエータ®」です。省スペースで、消費電力も少なく、様々な用途に利用できます。

環境マネジメントシステムを軸に環境負荷低減を実践

当社では、地球環境の保全を経営の最重要課題のひとつと位置づけ、環境目標の展開、全員参加の改善活動を通じて環境負荷の低減に努めています。

2011年6月には組立工場の屋上に太陽光発電パネル（240枚）を取り付け、発電を開始しています。事務所や工場においても順次、LED照明へ切り替え、窓ガラスへの断熱フィルムの貼り付け、一部の屋根への断熱塗料の塗布、省エネ10箇条の掲示などによって省エネ･節電に取り組んでいます。

製造現場では5Sの徹底はもとより、総電力使用量の約60%を占める熱処理の効率アップにも取り組んでいます。

また、廃棄物のリサイクル率は99%を維持しており、今後も分別を徹底し、焼却ごみを削減していきます。その他にも会社周辺の清掃活動や社内ノーマイカーデーを実施し、幅広く環境保全に寄与しています。

樹木再生で低炭素社会実現に貢献する緑の環境アシスタント

株式会社 都市樹木再生センター

所 在 地：	〒574-0012 大阪府大東市大字龍間698番地
T E L：	072−869−0365
F A X：	072−869−0368
U R L：	http://www.toshijumoku.co.jp/
代 表 者：	代表取締役社長　東野 隼士
従業員数：	17名
事業内容：	産業廃棄物及び一般廃棄物の再生処理業 環境商品の販売
認証･資格等：	ISO 14001

木屑を完全リサイクルし、新たな命を吹き込む

当社は、産業廃棄物及び一般廃棄物の再生処理業として、焼却処分を行わない総合的な木くずの完全リサイクルシステムを確立しました。

当社へ搬入された廃棄物は全てリサイクル処理を行い、製紙会社やボード会社に原料用チップとして多段階利用されます。また、バイオマスボイラー用の燃料用チップとしてもリサイクルされます。堆肥化したこだま再生バークは造園業者や一般農家へと還元しています。

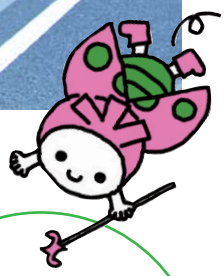
堆肥以外にも、間伐材を利用したピュア･プランターは森林資源の有効活用商品として特許を取得しています。

当社はISO14001（環境）を2007年に、2012年8月には大阪府から優良産廃処理業者認定を取得し、環境に良い事業活動の拡大、低炭素社会の実現に寄与する取り組みを進めています。

間伐の促進、里山再生へ

数年前より、地球温暖化問題や里山荒廃問題に関心を持つようになり、森林再生の重要性に気づきました。そこで、林業事業体としての認定を受け、これまでに培ったノウハウを生かし、自ら間伐を行うとともに、間伐材の購入、間伐材の現地破砕など、林業に関する事業を始めました。

当社は間伐材の作業を通じて、健全な森づくりを行うとともに、里山の整備、緑化資材等の販売も積極的に行っております。



「ピュア・プランター」は大阪府発明功績者表彰を受賞しています。

“子供にやさしい安全な砂場”の実現を目指して!

株式会社 中原運輸

所在地：	〒579-8001 大阪府東大阪市善根寺町4−7−36
TEL：	072−986−1305
FAX：	072−986−1309
URL：	http://www.nakahara.ne.jp/
代表者：	代表取締役　中原　毅
従業員数：	35名
事業内容：	運輸業
認証･資格等：	国土交通省認定 安全性優良事業所

合理的な知的物流による物流効率化、環境負荷低減を実現

当社は、食品から精密機械まで、また梱包から保管まで、あらゆる業界の多様な物流サービスに応じています。また、配電盤･映像ロボット･機械一般などの重量物の運搬･搬入･据付･撤去も行っています。

日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会に加盟し、個々の物流事業者がお互いに公開している輸送情報を活用することで、ロスの少ない運行を実現し、輸送効率を高めています。具体的には帰り荷の確保、積み合わせの効率化、自社では困難な輸送依頼への対応などに活用しています。

また、運行診断システム「みまもりくん」を導入し、各ドライバーの運転状況を評価し、エコドライブを推進しています。

このように、ITを活用した合理的な知的物流の実践により、物流効率化、燃費改善、安全確保を実現しています。

砂場を熱処理で殺菌、「フン公害」から子供たちを守る

私たちが日常生活を営む上で、欠くことのできないものの一つに「緑に囲まれた自然」があります。身近な緑地の一つに公園がありますが、その公園の砂場はペットブームのあおりを受けて、犬や猫の排泄物によって深刻な汚染に見舞われています。

そこで当社では、運送用2トントラックを使った砂場クリーニング事業を始めました。荷台に乗せた熱処理装置で砂を160℃の高熱で消毒します。殺虫･殺菌が確実にでき、砂場特有の臭気も取り除くことができます。ゴミも一緒に取り除かれ、汚れた砂を入れ替える必要もなく、安価に処理できます。

さらに、「ガーデンバリア」と呼ばれる変動超音波ネコ侵入防止機も販売しています。これは、タイマーで作動し、夜間や砂場を利用しない間、猫の嫌う周波数帯を発生させて砂場への侵入を防止する装置です。

当社は、子供たちが安心して遊べる環境管理が必要と考えています。

砂場クリーニングシステム「お砂場くん」

徹底した3S活動を通じて「お客様に満足していただける製品づくり」を!

西村鉄工株式会社

所在地：	〒574-0057 大阪府大東市新田西町6−41
TEL：	072−874−2997
FAX：	072−889−2800
URL：	http://www.nishimura-works.co.jp
代表者：	代表取締役　西村 和之
従業員数：	30名
事業内容：	工作機械部品製造、農業用ギヤブランク製作、その他金属機械加工
認証･資格等：	ISO 9001・ISO 9002 エコアクション21

熟練の金属加工技術と管理技術で高品質の部品を低コスト･短納期で製造

当社は、熟練の金属加工技術を駆使し、お客様の要求に応じて、工作機械部品や農業用のギヤブランクの製造を中心に、介護車の部品など、その他の金属機械加工を行っています。製造の流れは、鋳造品･鍛造品などの素材を基に、旋削→フライス加工→熱処理→研磨→表面処理を基本としています。

一品一葉の受注に対して納期を死守しながら必要な分だけ材料発注し、設備の稼働や段取り替えのロスを極力削減できる生産計画を組み、低コストと短納期を実現しています。

さらに、ISO9001の認証取得による品質マネジメントシステムの確立、3次元測定器や真円測定器による検査、多くの技能検定合格者の輩出など、品質確保にも抜かりはありません。自社で開発し活用している厚みと振れを見る測定器は外販もしています。

一部一個流し生産にも挑戦し、日々生産改善に努め、お客様に満足していただける製品づくりを心がけています。

徹底した3S活動でムダの排除と環境配慮を実践

当社では、お客様からのニーズに応える原点は、そこで作業する基本的な姿勢であると考え、人材育成と環境整備に重点を置いています。そこで1999年から「3S計画」(整理･整頓･清掃)を社員全員で開始し、徹底した3S活動を継続しています。たとえば、工具類などの形跡配置、全作業台へのキャスター取付、作業エリアと通路の床の色変えなどとともに、毎日、朝礼での品質方針･目標の唱和、床拭き、食堂･トイレ掃除、機械の点検などをエリアや当番を決めて実施しています。3Sを徹底することは、設備稼働率の向上や不良の低減につながり、エネルギー使用量の低減、安全、お客様への信頼確保にも寄与します。

エコアクション21の認証取得を機に廃棄物やエネルギー使用量を計測し、目標とするピーク電力に近づくと点灯するパトライトの設置、機械の時間差起動、LED照明への順次切り替え、エアー漏れチェック、エコドライブなどを実施しています。

「青空と大地を守ろう」を理念に プラスチックの3Rを実践

ニッポー株式会社

電子部品用リールのリユースシステムを構築

所 在 地：	〒574-0062 大阪府大東市氷野 2−3−7
T E L：	072−870−8866
F A X：	072−872−3331
U R L：	http://www.nippoltd.co.jp/index2.html
代 表 者：	代表取締役社長　内田 雅典
従業員数：	776名
事業内容：	プラスチック製品製造販売業
認証･資格等：	ISO 9001・ISO 14001

リデュースを意識して各種プラスチック成型品を製造

当社は、長年積み重ねた成型技術を基に、多岐にわたる事業分野にプラスチック成型品を提供しています。電気･電子分野では、キャリアテープやリールを中心に電子部品の表面実装の一翼を担っています。医療･健康分野では、医療検査用品をクリーンな作業環境を整え、お客様のシビアな要求に応えて製造しています。食品分野では、一般食品容器から冷凍食品容器まで、清潔を第一に考えて様々な要望にお応えしています。その他、ベビー･文具用品分野、販促品･パッケージ分野へと事業領域を拡大しています。

商品アイテム数が数万になるため、極力段取り替えが少なくなるように生産計画を組み、廃棄ロスや時間ロスの削減に努めています。

ダンボールやポリ袋の調達においても標準化を進め、仕入先を絞ってスケールメリットを出し、コストを削減すると共に、過発注を防止して余分な資材購入をしないように心掛けています。

含有化学物質管理にも早くから取り組み、お客様に情報提供をしています。

電子部品用リールのリユースシステムを中心に環境配慮を実践

当社では、本社工場始め、九州工場や海外工場でISO14001を認証取得しております。そして、具体的な活動の一例としては、電子部品用リールのリユースシステムを確立しました。電子部品用リールは電子部品メーカーに供給され、そこで電子部品が装填され、セットメーカーに送られます。セットメーカーではそれを実装機に装着し、電子部品実装が終了しますと、リールは不要品になります。それを当社が回収し、検査して合格品はリユース品として再び電子部品メーカーに供給します。このシステムは、多くの電子部品メーカーやセットメーカーの協力を得て運用されています。リユースできなくなったものは、外部に出さず、粉砕してペレット粒へ還元し、リサイクルされます。工程内で発生する端材なども同様にリサイクルされます。

当社は省エネ法における第一種エネルギー管理指定工場に指定されており、蛍光灯の間引きや機械のアイドリングストップ、デマンド監視など、省エネにも積極的に取り組んでいます。

粉砕されたロス・端材は新たな製品に生まれ変わります

クレーン技術で「環境社会と地球との共存」に貢献するセーフティー&クリーンな企業を目指す

株式会社 ハマテック

リーチタワークレーン
（電線障害等上部制限のある現場での水平送りこみ作業）

所 在 地：	〒574-0028 大阪府大東市幸町 23−2
T E L：	072−873−0202
F A X：	072−873−0360
U R L：	http://www.humantecg.co.jp
代 表 者：	代表取締役　濱中　弘
従業員数：	34名
事業内容：	住宅建設に係わるクレーン事業
認証･資格等：	ISO 14001

悪条件の住宅建設現場でも、最適なクレーンリースで作業を実現へと導く

当社は、建設現場のトータルプロデュースを手がけるヒューマンテックグループの一員として、クレーンリース、電動台車･総合仮設資材のレンタルを行っています。

地形･ロケーション･搬入路･地域特性など、住宅建設現場を徹底的に調査し、どんな困難な状況でも対応できるクレーンを揃え、当社のオペレータが現場で働く方々の作業性を考慮して、機能的で最適な作業空間を実現しています。

たとえば、当社のリーチタワークレーンは、電線障害、障害物越え、敷地高低差、特別高圧線など、上部制限のある現場での水平送り込み作業などに威力を発揮します。

また、大阪府知事より低公害車として表彰を受けた電動台車は、小回りがきくうえ、4輪が独立して自由回転するので、狭小地での作業に有効です。

その他、作業する人や近隣の方々にとって快適な現場環境を実現する様々なツールをレンタルしています。

大阪府知事より低公害車表彰を受けた電動台車

事業活動全般で環境配慮活動を実践

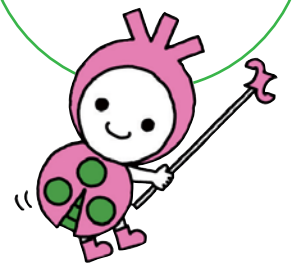
当社では、2001年8月にISO14001を認証取得して以来、環境に対する積極的な取組を続けています。

クレーン全車両に国交省認定の低騒音型及び環境･経産･国交省による排ガス基準適合を装備し、近隣住民の生活環境を第一に考えて、現場での排ガスの削減、騒音低減に努めています。

現場への移動時や現場でのクレーン運転時には、エコドライブを実践し、全車両に標準装備されたデジタルタコグラフで、安全と環境の両面から分析･評価することで、車輌燃料や排ガスの低減に努めています。

事務所では、照明スイッチの個別化、エアコンの省エネタイプへの切り替えと適切な温度設定、デマンド監視装置（多回路モニター）の設置により消費電力量の見える化を図り、省エネとピーク電力のカットに努め、環境への負荷を継続的に低減しています。

環境への配慮は「企業の社会的責任」であると強く認識しています。



人と自然の調和を図り 健康な地球を目指して!

株式会社 阪和ケミカル

所 在 地：	〒574-0043 大阪府大東市灰塚 5−7−4
T E L：	072−870−8772
F A X：	072−380−9053
U R L：	http://r-hanwakemikaru.net/
代 表 者：	代表取締役　小倉 秀夫
従業員数：	2名
事業内容：	洗浄剤卸業

人と環境にやさしい洗浄剤を販売

当社は、界面活性剤を使わない、植物由来の多機能洗浄剤を販売しています。当社が扱う洗浄剤は、株式会社ウイットグループが開発した「ナノソイクリーナー」と呼ばれる洗浄剤で、植物由来の原料をナノテクノロジーやバイオ技術を用いて活性化したものです。

大豆を原料とした食品洗浄用と松の実を原料にした印刷用インク洗浄･金属機械洗浄用の2種類があります。イオン結合破壊により、汚れ成分を剥離する洗浄と、活性脂肪酸が酸化された古い油脂と化学反応し水に溶かす洗浄で、排水が石鹸化されて配管を洗浄します。99.9%自然のバクテリアに食べられて生分解されます。強力な洗浄力、消臭力、抗菌力、防カビ力、静電気防止効果などを持ちながら、手荒れを改善し、水質を浄化する、人にも環境にもやさしい洗浄剤です。

当社は関西地区の代理店として、技術営業及び販売を行っています。

環境にやさしい新農業システムを開発メーカーとともに提案

当社は、株式会社ウイットグループが開発した「新･農業技術革命」と呼ばれる農業ビジネスを提案しています。

「新･農業技術革命」では、これまでの化学肥料の大量使用により疲弊し汚染された土壌をリセットし、その浄化された土地に、最適な菌とバクテリアを注入して土壌を蘇らせます。さらに、天然素材から生まれた発育促進剤で農作物の発育を促進し、害虫忌避剤で害虫を忌避し、安全･安心な農作物を育てることができます。

また、畜産農場の除菌･洗浄･消臭ができるトータル浄化システムも提案しています。

人と社会と、自然とともに一世紀
人と環境にやさしく、ゆとりある暮らしの実現を!

株式会社 日の出組

古民家再生事例

所在地：	〒574-0042 大阪府大東市大野1−13−18
TEL：	072−872−1212
FAX：	072−871−7941
URL：	http://www.hinodegumi.co.jp/ http://www.facebook.com/hinodegumi
代表者：	代表取締役　東村 正剛
従業員数：	10名
事業内容：	建築業
認証･資格等：	エコアクション21

「人の気持ち･思い入れ･歴史を住み継ぐ」をお手伝い

当社は、注文住宅の新築だけでなく、古民家再生、曳家･揚前工事、リフォームなど、幅広い建築･工事を手掛けています。

古民家再生では、古民家住宅の持つ特質や良さを生かしながら、現代のライフスタイルに合う住宅に再生します。曳家工事では、お客様の大切な家を傷つけることなく新しい場所に移動します。揚前工事では、地盤沈下や傾きを補強･矯正し、家を長持ちさせます。

リフォームにおいても、依頼主の「こんな家に住みたい」というイメージや閃き、家族に大切なこと、不足していること、思い出、歴史などをお聞きし、思い入れのあるものはそのまま使用したり、形を変えて使用しながら、匠の技で住み慣れた家をより快適な住まいに仕上げます。

こうした長く住み継いでいただける家づくりは、思い出ごとサステナブルな「究極のエコ」。創業時の曳家の技術と理念を今に活かし、お客様の夢を実現し続けます。

創業以来の曳家の技術

自然素材の使用や省エネ住宅で、人と環境にやさしい家づくり

新築住宅においては、シックハウス対策としてのフォースター基準をクリアする低ホスムアルデヒド建材を使用することはもちろんですが、コストが許せば「プラスOne」というブランドで無垢材や珪藻土などの自然素材を使った身体にやさしく快適でエコロジーな家を提案しています。施主さんに日曜大工感覚でお手伝いいただければコスト削減も可能です。

発泡剤吹き付け断熱やLow-Eガラスの使用など、様々な断熱技術を駆使した省エネ住宅も提案しています。日進月歩の省エネ技術は日々習得に努め、お客様に提案していきます。ご希望があれば、家具や家電などの生活提案も行います。

当社では、エコアクション21を認証取得し、社内での省エネ･節電、エコドライブ、廃棄物の削減･再資源化、排水量の削減に取り組んでいます。

これからも人と環境にやさしい、古くて新しい21世紀型エコ住宅を少ない環境負荷で作り続けます。

成長する社員とともに、バネづくりを通じて、地球環境と社会に貢献

富士発条株式会社

所 在 地：	〒574-0044 大阪府大東市諸福3−10−1
T E L：	072−871−5161
F A X：	072−874−8214
U R L：	http://www.fuji-spring.co.jp
代 表 者：	代表取締役　山中 善博
従業員数：	19名
事業内容：	金属バネ製造
認証･資格等：	ISO 14001

お客様のニーズに応じた金属バネを「しなやか加工」で製造

当社は、お客様のニーズに合わせて様々な形状、サイズの精密金属バネをJISの公差よりも厳しい公差で製造しています。金属線を硬いまま製品にするのではなく、お客様の要望に沿って規則性を持たせ、あらゆる空間に曲げ、ねじり、切削加工して、復元性のあるしなやかなバネに仕上げます。

量産品は機械で製造しますが、数が少なければ手作業で作ります。バネは完成品の内部に組み込まれていて目立ちませんが、熟練職人の技、そして汗と涙が込められています。

お客様の製品の開発段階から連携し、その製品に最適なバネを設計し、製造しています。過酷な条件で使われる耐久性の高いバネづくりにも取り組んでいます。

また環境の視点から、出来るだけ少ない材料でお客様の求める要件を満たすバネを提案したり、当社のバネが使われている水耕栽培キットや遮熱ネットをPRしています。

節電を人と会社が成長する好機に

福島第一原発の事故を踏まえて、2011年の夏、全国的に節電が求められ、当社でも節電に取り組みました。その結果、7〜9月の3ヶ月間で消費電力を対前年比で30%の削減を達成しました。主な取り組みは、①特に暑い作業場（電気炉周辺）へのマイ扇風機の設置、②電気炉の設置場所の集中、③お客様へのリピート品の前倒し生産依頼、④手作業による電気炉への仕掛品のまとめ投入（電気炉稼働時間の短縮）、⑤蛍光灯の個別スイッチ、⑥予め設定した消費電力に近づくと「限界」が表示されるデマンド監視装置の設置、などです。

2012年夏では、ピーク電力の対前年比40%カットを目標に取り組みました。節電のアイデアを従業員がこぞって提案し、「電源は落としたか」などと声を掛け合うことでコミュニケーションも深まりました。お客様からのコストダウン要求にも節電と現場改善で凌ぎ、従業員と会社は成長を続けています。

蛍光灯へ設置する反射板で、節電・照度アップ・CO_2削減を提案

株式会社 マイティ

MCPET 設置後の事務所

所 在 地：	〒574-0057 大阪府大東市新田西町 3－15
T E L：	072−874−9210
F A X：	072−874−9215
U R L：	http://www.mighty.asia/
代 表 者：	代表取締役　鈴木 雅也
従業員数：	20名
事業内容：	商社

グローバルな視座と自在なアイデアで国内外の良質な商品を販売

当社は、電線用導体の製造･販売を行っている株式会社三鈴の子会社で、主に5つの事業を運営しています。

1)ソーラーパネル用導体事業

三鈴の技術力を駆使したソーラーパネルモジュール内のインターコネクターバスバーの銅箔、ジャンクションボックス、太陽電池モジュール用ケーブルを販売しています。

2)EMS事業

アジアの自社工場および提携工場であらゆる電子部品を低コスト･高品質で製造し、提供します。

3)EC事業

スマートフォンや携帯電話関連のアクセサリー機器やパソコンの周辺機器などを輸入販売しています。

4)CSR事業

貴重で希少なスロバキアワインを輸入販売しています。

5)省エネ事業

蛍光灯に設置する反射板（MCPET）を販売しています。

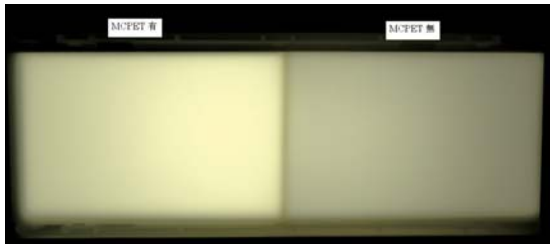
照明の省エネを実現する高効率反射板（MCPET）の販売

MCPETは、直管型蛍光灯に取り付ける天井照明用反射板です。クリーンな炭酸ガスを発泡剤に用い、飲料容器などに使用されるPET樹脂を5倍に発泡させ、可視光の全反射率99%以上、拡散反射率96%以上といった光学特性を持っています。

節電のために蛍光灯を間引いても、MCPETを設置することで照度を維持することが出来ます。表面加工されているため、紫外線をカットし、変色しにくく、汚れも付きにくくなっています。蛍光管を外して蛍光灯の裏側に磁石で貼りつけるだけなので、基本的に工事は不要。特殊な形状の場合はオーダーメイドも可能です。

拡散反射によりやさしい光を反射するため、目にやさしく、商品のディスプレイにも最適です。LEDとの相性もよく、LEDの直線的な光を緩和させることができます。

当社は、MCPETの販売を通じて、節電･照度アップ･CO_2削減に貢献します。



デモ機による照度比較

安全第一・品質と環境の融合による モノづくりを実践

明星金属工業株式会社

周辺清掃活動（月１度）

所 在 地：	〒574-0015 大阪府大東市野崎 4−5−12
T E L：	072−877−1661
F A X：	072−879−6796
U R L：	http://www.meisei-metal.co.jp
代 表 者：	代表取締役社長　上田 幸司
従業員数：	35名（本社Gr総計88名）
事業内容：	プレス金型製造
認証・資格等：	ISO 14001・ISO 9001

大型で高精度の自動車用金型を緻密な作業で製造

当社は、プレス用金型加工総合メーカーとして活動を続けています。現在はドア・ボンネット・ボディー部品などの大型の自動車用金型に特化し、各自動車メーカーの仕様に基づき、一品一様の受注生産を行っています。

お客様の製品仕様をデータで受け取り、金型の3次元立体モデルに形作り、加工条件を加えてNCデータにします。鋳造メーカーで作られた鋳物を基に、切削、熱処理、研磨、溶接、組立、補正を行って金型に仕上げていきます。最終的な上型と下型との面合わせは手作業で行います。ここではミクロン単位の補正が必要になります。また、納品時にも設置場所の設備や環境に応じて手作業で緻密な調整・修正が必要になり、当社とお客様企業との往復も発生します。納品された金型のデータはデータベースに蓄積され、次の金型づくりに活かされます。

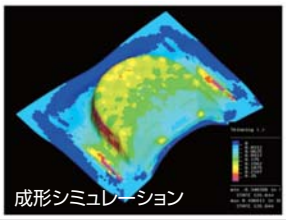
熟練技能者による緻密な作業が、高精度の金型づくりを支えています。この技術・技能力こそが日本の金型メーカーが今後生き残っていく砦になると考え、技能者養成にも力を注いでいます。

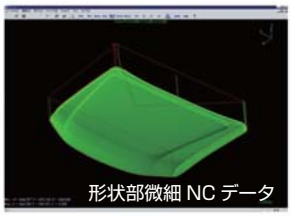
モノづくり企業の本質を極めるとこで環境配慮活動を実践

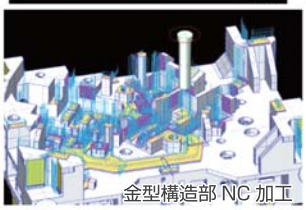
当社では、ISO14001の認証取得を機に環境配慮に取り組んできました。紙・ゴミ・電気の削減は限界を迎え、今ではものづくり企業の本質に立ち返り、QCD（品質、コスト、納期）の向上を環境配慮活動の中心に据えて取り組んでいます。不良を減らし、作業効率を高めることで、廃棄物や電力使用量を削減でき、コスト削減や納期短縮につなげていくことができます。

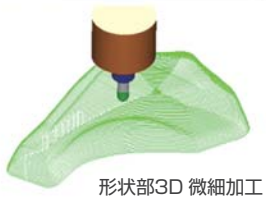
スタッフ部門ではCAD／CAMによる金型設計の効率化、IT活用による生産計画や品質保証の効率化を行っています。製造現場では5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）の徹底、仕掛品などの滞留の削減、物流導線の短縮、動作改善などを行っています。KYシート（危険予知シート）やMKS（明星気づきシート）を活用し、危険防止や、業務改善に努めています。

さらに、工場の防音・防振対策、夜間操業自主規制はもとより、工場周辺や通勤路の清掃活動、作業服や紙類のグリーン調達活動も行っています。


成形シミュレーション


形状部微細 NC データ


金型構造部 NC 加工


形状部3D 微細加工

「人・家具・環境」の調和のとれた家具づくりで顧客満足を最大化

歯科医院の受付カウンター

株式会社 箭木木工所

所在地：	〒574-0077 大阪府大東市三箇 6−3−7
TEL：	072−872−4061
FAX：	072−872−4062
URL：	http://yagimokkousho.com http://www.yagi-project.jp/
代表者：	代表取締役　箭木 剛之
従業員数：	9名
事業内容：	家具製造業
認証・資格等：	エコアクション21

人と環境に優しく、長く大切に使われる、温もりある家具を提案

当社は、木工家具のトータループランナーとして、お客様のご要望に応じた家具づくりを行っています。図面には表れないお客様の細かなニーズを読み取り、壁面収納、テレビボード、食器棚、本箱、受付カウンターなど、様々な家具をベテランの職人の手で丁寧に仕上げています。

シックハウス対策としてホルムアルデヒドの少ない4スター基準の塗料や接着剤を使うことはもちろん、無垢材や竹材といった自然素材を活用し、人と環境に優しく、長く大切に使われる、温もりのある家具を提案しています。

長い年月を費やして生長してきた木を伐採し、貴重な資源として活用している立場として、少しでも長く使える家具づくりに励むとともに、古くなった家具を再生する家具再生事業や、大阪府産の木材を使った家具づくりなど、環境に配慮した新たな取り組みも始めています。

飾り棚

世界一環境負荷の少ない家具づくりを目指して

木工家具は基本的に木材の伐採なしには事業は成り立ちません。自然の命を大切に使うためにも、できるだけ端材が少なくなるような加工や再利用を心がけ、徹底した5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）を実践して、資材やエネルギーロスの削減に努めています。

エコアクション21の認証取得を機に、ゴミの一層の減量化に努めるとともに、照明を省エネタイプに切り替え、撒きストーブを導入して、どうしても家具づくりに利用できない端材や木屑を燃料として活用したり、配達時には複数のお客様を巡回するミルクラン方式やエコドライブを実践するなどして、節電、節水、燃料削減にも取り組んでいます。

また、認証された合法木材の使用割合を増やすことで、熱帯雨林（ジャングル）の森林資源保護に貢献し、間伐などの森林ボランティアや様々な環境保全活動にも積極的に参加しています。

環境配慮型企業としての地位を確立していきます。

鉛の特性と培った技術を活かし遮蔽で環境と人を守る!

ヨシザワLD株式会社

所 在 地：	〒574-0052 大阪府大東市新田北町 2−20
T E L：	072−871−6467
F A X：	072−873−2632
U R L：	http://www.yoshizawa-ld.co.jp
代 表 者：	代表取締役社長　宮里 幸雄
従業員数：	70名
事業内容：	非鉄金属製造業
認証･資格等：	ISO 14001・JIS H4301

人体保護と環境汚染対策の遮蔽･吸収材として鉛製品を製造

当社は、遮蔽分野を主体にして非鉄金属製品の製造･販売と、それに伴うサービスを主な事業としています。これまでPRTR法やRoHS指令で有害イメージの強かった鉛は、他の金属と比べて低コストかつ少量で放射線の遮蔽に威力を発揮します。

当社では、鉛を使用した医療関連の遮蔽材料の製造及び防護工事を行うとともに、医療現場等で使用される多種多様なX線検査装置、スマートフォンなどの製造工程で使用される電子イオンを注入する液晶装置･半導体装置やペットボトルなどの滅菌工程で使われる電子線照射装置、半導体関連の検査装置などの遮蔽設計及び製作を行っています。

さらに、原発事故発生現場にも鉛を使った様々な放射線遮蔽体を出荷しています。米や野菜に放射性物質が含まれているかを確認する検査装置の遮蔽などにも貢献していきます。

鉛は薄くて優れた遮音効果を発揮します。当社は防音材等の環境型商品の提供でも貢献していきます。

原発事故発生現場にも鉛を使った様々な放射線遮蔽体を出荷しました。

製造現場の環境保全、リサイクル、省エネ活動を推進

当社は、商社が海外から仕入れた鉱石(亜鉛鉱)を日本の精錬メーカーでインゴットにされた材料を購入し、それを再溶解して圧延加工することで、様々な鉛製品を製造しています。製造工程では、鉛ヒュームの従業員による吸引の防止対策や、大気放出が発生しないように万全の対策をとっています。

使用済みの鉛製品を剥がして回収し、製錬メーカーでインゴットにすることで、再び原料として使用する、リサイクルの取り組みも行っています。

太陽光発電装置を設置し、電力使用量をモニタリングすることで、待機電力の多さに気づき、省エネ意識も高まりました。一部LED電球への切り替えを行いました。今後さらなる省エネに取り組んでいきます。

他社にないオンリーワン技術で地球と社会環境を守る!

株式会社 ラブアース･テクノロジー

ガス安全装置

所 在 地：	〒574-0041 大阪府大東市浜町 8－4－101
T E L：	072−870−6890
F A X：	072−870−6890
U R L：	http://www.love-earth-tec.com/
代 表 者：	代表取締役　小川 朝久
従業員数：	4名
事業内容：	機械器具製造開発

人と地球環境を守る製品の研究･開発に注力

当社は、地球環境に優しい技術開発に取り組んでおり、これまでに各種省エネルギー機器の開発を、特許を取得しながら様々な企業に提案してきました。たとえば、間接熱交換方式を採用した電気温水器、熱の温度差によって熱がゆっくり移動するポンプレスの床暖房装置、コンパクトで常在菌を何度も入れる必要のない業務用生ごみ処理機、流し台の下に設置できる下水処理対応ビルトイン型家庭用生ごみ処理機などです。

最近では、照度を確保しつつ、省エネを実現した直管型LED照明装置を開発しました。通常のLED照明装置に比べ、1/2～1/3の消費電力で済み、大幅な省エネが可能です。

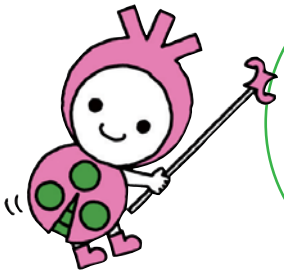
さらに、画期的なガス安全装置を開発しました。通常のガス安全装置は、ガスが漏れて天井に届いて初めてガス漏れを検知（予防措置）できますが、当社のガス安全装置は、ガスコンロとガス元栓の間に装着します。ガスコンロの開閉でガスの圧力変化を感知し、ガス管の開閉を自動的にコントロールするもので、ガスコンロ使用時は開、未使用時は閉となり、利便性を確保しつつ、未使用時は弁が常時閉じているので、ガス漏れが発生しません（本質安全）。また、万が一、配管劣化などで配管から漏れが発生しても検知し、弁を閉じた状態を継続するのでガス漏れによる事故に至りません。

上段：LED 蛍光灯銘板部
下段：LED 蛍光灯の点灯状態

オンリーワン技術で創エネルギーにチャレンジ

当社は研究開発を主体にした会社で、研究･企画･設計･検査･出荷･保守を担当し、製造は外部委託しています。大手企業や大学等と共同開発を行う場合もあります。

これまでは省エネルギー機器の開発が中心でしたが、今後は創エネルギー機器の開発にも取り組んでいきます。現在は他社にないオンリーワン技術で、画期的な太陽光発電装置の研究に力を入れています。



地球環境に優しい技術に関する様々な研究や開発を行っているんだね。

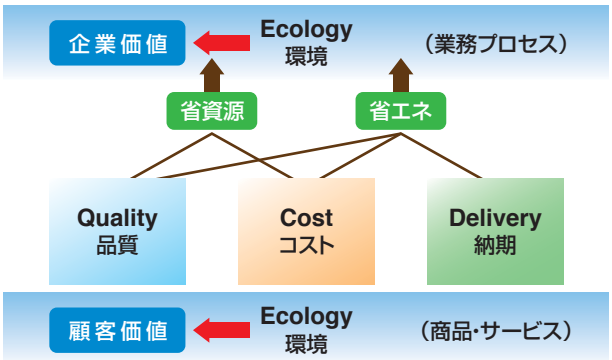
エコを武器にビジネスを勝ち抜く戦略を！

e＆i経営研究所　代表　高 野　淨

環境（E）をビジネスの前提に

従来、ビジネスを勝ち抜く必須アイテムはQ（品質）、C（コスト）、D（納期）と言われてきました。最近は環境問題が国際的な課題としてクローズアップされ、QCDに加えてE（環境）が大事だと言われています。E+QCDがビジネスを勝ち抜く必須アイテムとなりました。環境にやさしくないものはそもそも製造･販売する資格がありません。環境に優しいということが前提で、その上にQCDの向上を図るべきでしょう。もちろん、QCDの向上も環境負荷の低減につながります。不良品を削減できれば材料やエネルギーを無駄に使わずに済みます。短納期化を実現するのも設備生産性や労働生産性を高めることになり、エネルギーの削減につながります。コスト削減は品質向上や短納期化によっても実現できますが、加えて購入材料の削減、廃棄物の削減、在庫削減、省エネなどを実践することで実現できます。今や環境と経営を両立させることは当たり前。環境への対応を負担と考えずに、むしろそれを武器にしてビジネスを勝ち抜く戦略を立てることが重要です。

ビジネスを勝ち抜くための必須アイテム



環境価値を顧客価値へ

「同じ値段なら環境に配慮したものを選ぶ」というお客様は多いのですが、値段が高くなると選んでくれるお客様が減少するのも事実です。エコというだけではお客様に選んでいただけません。ここで重要なのは、「環境価値を顧客価値に変える」ということです。たとえば植物由来の素材を使った洗剤があります。これは食器を洗って河川に流しても河川の汚染につながらないという「環境価値」があります。同じ値段ならこれだけでお客様は選んでくれるでしょう。しかし、値段が高くなると敬遠されるかもしれません。この洗剤が手荒れを防ぐ、肌にやさしい洗剤だとすればどうでしょう。少々値段が高くても選んでくれるお客様が増えるのではないでしょうか。「お肌にやさしいのは植物由来の成分で出来ているからなのです。」といえば環境価値が顧客価値に結びつきます。省エネ製品が売れるのも「水道光熱費が削減できる」という顧客価値に直接結びつくからです。企業相手に事業を行っている場合は、最終消費者の顧客価値を考え、「ウチを使えば御社のお客様が喜んで、御社が儲かる」と提案しましょう。

今回取材させていただいた企業は、いずれもエコをビジネスの中にしっかりと根付かせ、企業価値の向上につなげておられます。多くの企業にぜひエコを武器にビジネスを勝ち抜く戦略を立てていただきたいと思います。それは地球環境保全とともに、地域経済の活性化に貢献します。

高野　淨 *Takano Kiyoshi*
e ＆ i 経営研究所　代表
ものづくり企業の業務改革、環境経営、IT経営を中心に中小企業を支援。
中小企業診断士、ITコーディネータ、環境プランナーER